



2020年3月6日

日本鉄道労働組合連合会

J R 二 島 ・ 貨 物 経 営 自 立 実 現 P T 第 3 回 会 合

四国のめざすべき将来像への課題解決を！

3月6日、「JR二島・貨物経営自立実現PT」第3回会合を開催した。今回はJR四国を招き、JR四国の将来にむけた課題や「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会Ⅱ」（ネット懇）での議論等についてヒアリングを実施した。

冒頭、共同座長の小川淳也衆議院議員（JR連合国会議員懇談会事務局長）、広田一衆議院議員（同幹事）が挨拶に立ち、コロナウィルスの感染拡大に伴う各社への影響が広がる中、ヒアリングへの参加に対して謝意を述べたうえで、本PTにかける思いとともに、「JR四国の経営自立に極めて大事な1年になる」と決意を示した。



続いて、荻山会長は、「JR四国で働く仲間が将来に希望を持ち、安心して意欲的に働き続けられる環境を作っていかなければならない。助成策もさることながら、将来像をしっかりと描いてバックキャストの思考でこれから何をしていくかということが重要である」と力強く語った。

JR四国から、将来にむけて事業者のみで解決することが困難な課題と、解決に向けて必要な支援、そして、四国4県知事や経済界・労働界・学識経験者などによるネット懇での「中間整理」について説明を受けたうえで、JR四国の経営自立のあり方やその実現に向けた方策について意見交換した。

今後、JR北海道へのヒアリングを実施するとともに、政策提言の策定にむけた議論・検討を進めていき、働く者の視点から、各社の将来像を明確に描いていく。